

荒天時対応ガイドライン

鳥取中部ツーリズム協議会

イベントの中止判断について

<基本的考え方>

当協議会が主催する屋外イベントの中止判断については、イベントの性質、会場の状況、開催日程などを考慮し、参加者および関係者の安全を最優先に考え、状況に応じて運用するものとし、天候による判断については下記の基準を基に協議のうえ判断する。

その他、感染症の流行、社会経済情勢、開催日直近や近隣地域での大規模災害発生などの事情により中止とする場合がある。

1. 事前のイベント中止の判断

- ・ イベント開催2日前17時の状況を踏まえて行う。(天気予報などの情報による)
- ・ ただし、天候の急変により、イベント当日に中止判断を行う場合がある。
- ・ 中止の判断がなされた場合は、速やかに関係者に連絡する。

2. イベント開催中の中止判断

- ・ 参加者および関係者の安全を最優先に考え判断する。
- ・ 一時的な天候の乱れが予測できる場合には、この限りではなく状況を見て判断する。
- ・ 視界不良の場合については、イベント(走行)の一時中断や、ASでの待機を指示する。
- ・ 1時間あたり20mm以上の強い雨の場合、走行の一時中断や、ASでの待機を指示する。
- ・ 雷の場合、非難を指示する。

3. 参加料の取扱い

- ・ 規約上は、参加料については返還しないものとしている。
- ・ ただし事前にイベントを中止した場合は、その時点ですでに使用した経費を引いた額を、参加人数で割った額について、振込手数料を除く金額を参加者に返還する。(返還の実施については、返還額により総合的に判断。次回参加料の割引などで代替するなど、都度内部協議する)
- ・ イベント開催途中で、天候の急変等により下記基準に該当するなどやむを得ず中止となった場合は原則、参加料は返金しない。ただし、状況により主催者協議により返金(一部を含む)をする場合がある。

<イベント中止基準>

○イベント開催日が以下のいずれかの状況にあるとき気象	基準
降雨	・ 1回の降雨量（連続雨量）が50mm以上、または1時間の降雨量が20mm以上、または24時間降雨量が150mm以上であるとき ・ または、大雨警報が発令されたとき
強風	・ 毎秒10m以上の風速のとき、または強風警報が発令されたとき
降雪	・ 降雪を確認したとき
雷	・ 雷の発生位置が20km圏内になったとき（中止または中断）
その他	・ 災害や事故等により、会場や施設が危険な状態にある場合